

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧（第40輯）の発刊にあたり

富山大学杉谷キャンパス教職員の2016年の研究成果をとりまとめ、「富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧第40輯」として刊行いたしました。本誌は富山医科大学時代の昭和53年に第1輯が発刊されて以来、杉谷キャンパスの皆様の御協力と医薬学図書館運営委員会研究活動一覧編集委員の先生方のご尽力により、途切れることなく新生富山大学へと受け継がれてきました。本キャンパス教職員の研究のアクティビティを学内外に発信するための媒体として、今日に至るまで大きな役割を果たし続けているものです。

言うまでもなく、研究に関わる学術情報を的確かつ迅速に入手すること、並びに、研究成果をとりまとめて外部に発信することは、研究活動を行う上で欠くことのできないものです。本誌を刊行することは、杉谷キャンパスのメンバーが自らの活動の自己点検を行う機会を提供するとともに、富山大学の研究能力の高さを対外的に示すための重要なツールになると考えています。本誌が杉谷キャンパスにおける研究活動の更なる発展に結びつくことを願っています。

研究活動を行う上で図書館が果たす役割は極めて重要ですが、近年その関与の様子は大きく変化してきました。学術情報の電子化とオンラインシステムの整備によって、図書館に赴くことなく必要な情報を自分のパソコン内に入手できる環境が整い、図書館に長時間こもって文献調査を行うといった光景を見ることは無くなりました。本学の刊行物あるいは学術成果も電子化され、富山大学学術情報リポジトリで広く公開されています。また建物としての医薬学図書館も2014年末に増改築が行われ、快適な閲覧・学習スペースの確保に加えて、グループラーニングやアクティブラーニング等の新しい教育スタイルに応えるためのリノベーションが完了しました。富山大学医薬学図書館は今後ますます発展するものと思われまます。今後とも皆様方の一層のご支援を医薬学図書館に賜りますようお願い致します。

最後になりましたが、第40輯の発刊にあたり、ご多忙の中ご尽力いただきました研究活動一覧編集委員の先生方、業績の取りまとめを行ってくださった各研究室・部門等の先生方、並びに医薬学図書館課の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

富山大学医薬学図書館長 黒崎 文也
Kurosaki Fumiya